

---

# 君達。

莉子

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

君達。

### 【コード】

N3685I

### 【作者名】

莉子

### 【あらすじ】

ある朝、私は不良男にぶつかった。そいつに私は恋をする。でも…切ない事ばかりで…。

(前書き)

切ない片思いから幸せな両思いになるまでの、少女と不良の恋愛  
ブストーリー

ピピピピピピピ

携帯のアラームが部屋中に鳴り響く。

私は眠い目を擦りながらアラームを止めた。

急いで学校へ行く準備をする。

私の名前は広瀬ひろせ 春はる

高校2年生 16歳

両親は3年前に他界して、今は従兄の広瀬ひろせ 翔太しょうた通称翔ちゃんの家  
に居候しています。

「ワンッ！」

私の背中に飛び掛かって来たのはたまにしか帰って来ない翔ちゃんが  
私が寂しくならないようにと連れて来てくれたミニチュアダック  
スフンドの優太だ。

今は優太と私とたまに翔ちゃんと暮らしている。

時計を見ると…

「ぎゃー！もうこんな時間急がないと遅刻〜！！」

時間はAM8:24。

遅刻確定。

私は優太におやつをあげてから家を出た。

走っても絶対電車には間に合わないので、ゆっくり行く事にした。

駅のホームについた時…

ドンッ！

誰かにぶつかった。

そこにしりもちをついた私の前に手が差し出された。

「おい！大丈夫かよ?!」

髪がキンキラキンの金髪で短髪。耳には4つほどのピアスがついており、肌は白く、制服が乱れている。

『めっちゃ不良！初めて見たあ！』

私はこんなに近くで不良を見たのは初めてだからその場で固まってしまった。

「おい…？本当に頭大丈夫か？お前？」

私はハッとして立ち上がった時、一瞬クラツとし、不良男にもたれかかってしまった。

不良男は私を支えた。

「すみません！ありがとうございます！！」

私はとっさに謝り、お礼を言ってから…逃げた。

『ああ…怖かったあ…！』

そう思いながら私は電車で学校へ向かった。

学校へ着き、仲良しの3人安藤 直樹と、松本 真希と、井上 柊太に朝の挨拶をし、席へ向かった。

直樹が私に話し掛けて来た。

「なあ春！今日さあ、みんなでボーリング大会なんだけど春くるよなあ？」

「え〜！どうしようかな…」

「マジお願い！春来ないと盛り上がんねえんだよ！」

柊ちゃん（柊太）も参戦してくる。

「お・ね・が・い！」

「柊ちゃんが言うなら…」

「なんだよ！それ〜！」

4人で笑い合った。

この時はまだ知らなかった。

これから私の人生を大きく変える出来事が起こるなんて、想像もしなかった。

私はしぶしぶボーリング大会に参加すること…。

参加者はクラスほぼ全員。うちのクラス、2年A組は物凄く仲が良いという評判を受けている。

だが、今日の私は不機嫌だった。

その訳は、朝、遅刻して来た私にゴリエ（担任）が物凄くキレただ。

たかが1時間くらいの遅刻なんだからそんなに怒んなくなっただっていいじゃん！

私は朝からテンションが上がらなかった。

ボーリング大会もとうとう終盤。

私はちょっと気分転換に外の空気を吸いに、ボーリング場を出た。

散歩していたら…

最悪…。

不良達が戯れていた。

私は別の道を行こうとしたのだが…

「ねえねえ！ちよつとそこの君！ちよつとだけ俺達と遊ばない？」

呼び止められる。

スタスタとその場を立ち去ろうとする私に1人の不良が話し掛けて来た。



(後書き)

最後まで読んで下さった皆さん。

本当にありがとうございます。

この話はちょっと自分と重なるところが多くあります。

女の子ならこの気持ちができるんじゃないかと私は思います。

一度はみんなこんな片想いをした事があるんじゃないでしょうか？可能性がない恋なんてあり得ないのです。

あきらめたらもうそこで終わってしまいます。

皆さんどうか後悔しないような素敵な恋をして下さい。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3685i/>

---

君達。

2011年1月27日14時35分発行